

編 集 後 記

今年の元日に起きた能登半島地震によって亡くなられた方々に哀悼の意を表するとともに、ご遺族と被災された方々に心からお見舞い申し上げます。元の生活に1日でも早く戻られるよう切に願っております。

「誌上ギャラリー」は、平田宗興先生より「晴れ着姿で流し雛」と題された、可愛らしいほのぼのとした1枚が届きました。流し雛がひな祭りのルーツだったとは恥ずかしながら初めて知りましたが、お雛様に無病息災の願いを込め、何事も無事であることを祈りたいと思います。ありがとうございました。

「論説と話題」は、「第59回九州首市医師会連絡協議会」の報告がされており、また田中裕治先生からは、「第55回若年者心疾患・生活習慣病対策協議会総会」と題してご投稿いただきました。ありがとうございました。

「学術」では、安庭愛子先生より「鹿児島医療センターにおけるせん妄診療について」と題し、ご寄稿いただきました。せん妄の種類、診療、特に要因になる薬剤、電解質異常の確認治療についても勉強になりました。ご報告ありがとうございました。

「医師会病院だより」では、渡邊照彦先生から「外科の現状」として昨年は309例手術症例をこなされており、ほぼ消化器疾患で、医師、スタッフの人的不足等もあり急患対応には以前に比べ厳しい面はあるものの、スタッフの補充を図りながら頑張っていかれるとのことでした。これからも、ご紹介のほどよろしくお願いいいたします。

「随筆・その他」では、栗博志先生からは大作「伝統工芸・茶道具の話、その2-日本の美、土と炎の芸術と水指-」、小田原良治先生からは「制度創設時に立ち返り医療事故の定義を再確認しよう(5) 医療事故調査・支援センターは誤りを認めて研修内容を修正した」と題してご寄稿いただきました。リレー随筆では、「私の趣味、『御朱印』集め(とグレメの話)」と題して、出口央晋先生より御朱印

についての説明とコレクションの数々が掲載されています。皆様もご興味のある方は、収集されはどうでしょうか。私も神社に行った際は、貰ってみようかと思います。また水餃子と焼き餃子のみしかないという餃子専門店は、餃子好きの私にはたまりませんので、通販でぜひ購入したいと思います。ご投稿ありがとうございました。

「区・支部だより」では、阿久根哲先生から第3回郡元支部会、鶴留一誠先生からは第2回武岡支部会のご報告、石橋幸四郎先生からは中央支部会兼新年会として、4年ぶりの新年会の模様が届いております。私も中央支部ですので、久々の新年会で支部の先生方とかなり盛り上がり、楽しい一時を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

「各種部会だより」は市産婦人科医会研修会、学校医会幼稚園・保育園部会研修会の報告です。どうぞご一読ください。

「各種報告」では理事会の概要、鹿児島市医療三師会、令和5年度鹿児島市介護保険課と鹿児島市医師会との打ち合わせ会(書面開催)等が報告されています。ご参照ください。

「鹿市医郷壇」は、「頑張っ(きばっ)」がテーマです。皆様も是非ご一読ください。

私達家族も毎回楽しみにしていた、第6回鹿児島ラーメン王決定戦が2月23~25日の3日間、2019年以来5年ぶりに開催されました。あいにくの天気の中での開催でしたが、多数の方々が足を運ばれ大盛況でした。18店舗の中からどのラーメンを選ぶか迷いましたが、全部で6杯家族とシェアしながら食べ、どれも美味しく個性があり甲乙つけ難く、最後の投票は非常に迷いました。鹿児島の名物イベントにもなりつつありますので、今後も末永く開催されると良いなと思いました。

(編集委員 角 純啓)